

坂口歯科医院新聞



歯科 小児歯科 矯正歯科
 歯科口腔外科 歯周病
 予防歯科 審美歯科
 インプラント 顎関節症
 PMTC ホワイトニング
 フレキサイト義歯

海外より新しい手術器械を導入しました



ピエゾ・
サージエリー

上顎臼歯(奥歯)のインプラントや歯茎の中に埋もれた親知らずの抜歯は非常に難易度の高い手術です。
 この器械の導入により これまでと比べて
 極めて安全性の高い手術が出来るようになりました

診療時間

(月火水金) 午前9:00~12:50
 午後14:30~19:00
 (木) 午前9:00~12:50
 午後休診
 (土) 午前9:00~12:50
 午後14:00~17:00

私たちのモットーは
 みなさまに いつも笑顔を
 みなさまに いつも健康を
 お届けしたいのです



駐車場のお知らせ

久しぶりに来院された方は驚かれたかもしれませんが
 ついに医院の南側に4階建てのアパートが建てしま
 いました。残念ながら朝から陽射しが入らず、駐車場と
 待合室は暗くなってしまいました。
 しかし 診療室は以前と変わらず明るいし、冬の陽
 射しは室内を暖かくしてくれています。
 医院前の駐車場が足りない時は 左隣の三井
 生命と元鳥ぎん跡地の間から入ったところに 4台駐
 車場をご用意しております。どうぞご利用くださいませ。



今年も残り少なくなりましたが、皆様
 お口の健康はいかがですか？
 ……歯医者者の職業病が
 でてしまいました。(笑)



昨年12月にこの新聞の第1号を
 出してから1年が経ち またクリスマス号を
 発行出来ることは喜ばしいことです。
 これも偏に読んでくださるみなさまはもとより、
 協力してくれるスタッフのお蔭です。皆様に
 感謝申し上げます。

振り返りますと 今年も熊本を初め大阪、東京、福岡で開
 催されたセミナーを受講し 審美やインプラント等の新しい
 知識や技術の研鑽を積んで参りました。(この新聞やブログ
 でお知らせしたのもありますね)

11月30日に福岡で開催されたインプラントセミナーでは
 名立たる先生方と並んで私もケースプレゼンテーションをさ
 せて頂きました。寸暇を惜しんで準備をし、いろんな方々のお
 力添えを頂き発表した結果は、今年一番の大きな収穫でし
 ました。熱心な先生方と一緒に学び、高め合える喜び、歯科医
 師としての幸せを感じました。

私は今年還暦を迎えましたが、まだまだ留まることなく さ
 らに上を目指して日々の診療に励みたいと思っています。

来年もスタッフ一同どうぞ宜しくお願いいたします。



10月27日から11月1日まで
 ハロウィンのイベントを開催しました。
 小学生以下のお子様を対象に
 マントや帽子で仮装して記念写真をとらせていただきました
 ♪プレゼントのお菓子と歯ブラシのセットもみんな喜んでくれ
 て大成功でした☆仮装して写真を撮らせてくれたお友達
 ありがとう！
 次回はクリスマスイベントを今月20・22・24・25日にします。
 お楽しみに♪



有希ちゃんの モザンビーク日記



親友エウジニエラと

笑顔が素敵な仲間です

モザンビークでのあいさつは女性同士だと、握手をし
 たまま両方のほっぺに、チュッチュッとキスをします。男性
 と女性でもそうです。男性同士になると、握手をしたまま
 抱き合っ、お互いに相手の背中や肩を、ポンポンと
 たたき合います。

そんなあいさつ、私は日本じゃ〜する習慣、もちろんな
 かったので、最初は動きがかなりぎこちなかったはず。

ですが初めて会った人にもそうやってあいさつをするの
 で、あいさつだけで、距離がグッと縮まった気がしました。
 たくさんの人とほっぺにチュッのあいさつをして、家族や
 恋人でなくても、親しい間柄だと、ギュッと抱き合っ
 て自分の気持ちを現します。

普段のあいさつでは、
 Bom dia.(ボン ディア) = おはよう！
 Tudo bem? (トゥドゥ ベン) = 元気？
 と言ったあとに、必ず、あなたの家族は元気？と聞きます
 。毎日会う、職場の同僚でもそうです。そして、昨日の夜
 はよく眠れた？とか、いい夢みた？とか、相手の健康を
 気遣った会話を、会った人全員としていきます。なので一
 人とあいさつをするのにずいぶん時間がかかって、仕事
 に取りかかるまでが長いのですが、私はそんな温かいあ
 いさつをする国民性がとても好きでした。

嬉しいことや、悲しいことが起こったとき、自分の気持
 ちを素直に相手に表現できる手段がたくさんある日々を
 過ごしていた気がします。

たまにそんなモザンビークが恋しくなります。



母校の歯科衛生士学院と山鹿
 の中学校でモザンビークでの体
 験をお話する機会がありました。
 若い人たちに広い世界へ興
 味を持って頂き、自分の可能性
 を信じて 未来へ羽ばたいて欲
 しいと思います

歯科衛生士のコラム

妊産婦のお口のケアについて



妊娠されている方はお口の中の環境が普段と違い、変化しやすくなります。そこで、今回は妊産婦のお口の中のケアについてお話ししたいと思います。

妊娠初期は、つわりが原因で、ブラッシングの困難さや面倒くささを訴える方が多いようです。妊産婦は口腔内環境が悪化しやすい時期であり、ケアには通常の時期よりも注意が必要です。

ブラッシングが困難なときは無理をしないで、気分がよいときに行ったり、香りや味に敏感なときは歯磨き粉の使用を一時見合わせてたりするとよいでしょう。それでも無理の場合は、うがい回数を増やすことをおすすめします。その際、無理でなければ殺菌効果の高い洗口剤を使用してみるのもよいでしょう。

妊娠している多くの方がつわりを経験します。また、一度に通常量の食事がとりにくいため、まわりにも分けて食べるようになります。そのうえ、全身状態としては疲れやすく、抵抗力も弱まり、ホルモンの変化も見られます。このようなことも手伝って、お口の中の細菌はどんどん増加していきます。これが妊産婦に歯肉炎が起こりやすいメカニズムです。



それでは、どのようにしていけばよいのでしょうか？

- ① 妊娠する前に、お口の中の環境を整えておく
悪い環境になることを考えて、よりよい状態にしておくことです。
- ② 清掃用具の選択をする
つわりを誘発しないものを考え、選び直します。大きすぎるハブラシ、歯磨き粉の香料は代表的な誘発原因になります。改善策としては、ハブラシのヘッドを小さめにする、通常の順序よく磨くこととこだわらず、あちらこちらを磨きながら長い時間をかけて磨く、歯磨き粉の使用を一時的に中止する、などがあげられます。
- ③ 歯科医院を訪れ、プロフェッショナルケアを受ける
妊娠によりお口の中は悪い条件が多くなります。口腔ケアは、あせらず、できることを工夫しながら、また、できるときに実施することが大切です。



医院見学で得たもの

11月17日(金)午後から、先生とスタッフ皆で福岡市にある馬場歯科インプラント・顎関節症治療センターへ見学に行きました。馬場先生は福岡でも有名な歯水会の会員でインプラント認定医でもあります。

院内は都会的なセンスにあふれたきれいな所でした。待合室には歯科や健康に関する本がおいてあったり、様々な種類のかぶせ物がディスプレイされていたりと、そこには患者さんに歯科の情報を提供する空間がありました。



メインはインプラントの手術を見学させていただくことでした。先生の技術はもちろんですが、アシスタントの機敏な行動でオペがスムーズに進んでいたのも、アシスタントとしてのあり方もしっかり学ばせていただきました。今回の見学で得たものを今後の診療で生かしていきたいと思っています。

「摂食嚥下リハビリテーション」研修会に参加して

10月19日(日)熊本市で開かれた研修会に参加してきました。『職種間連携による摂食嚥下リハビリテーションセミナー』というテーマで、はるばる北海道の小樽市より、講師の館先生がおいでになり、本当に内容の詰まった貴重なお話を聞くことができました。一日かけて開かれたそのセミナーの中で、口腔機能向上の重要性について詳しく勉強しました。



口腔機能が低下すると、「食べる楽しみ」が減るばかりか、誤嚥性肺炎、窒息などの呼吸器合併症や、脱水、栄養障害などの問題を引き起こして、全身状態の悪化を招くことにもなります。

まだ一般的には知られていないかもしれませんが、介護界では口腔機能の重要性について注目が集まっているのです。

私たち、歯科衛生士の出番がますます増えそうです！患者さんにとりまく、ほかの職種の方々とも協力し、いつまでも自分の口から食べることができるよう、お手伝いできればと思います。



ホームページ
わくわく日記
毎週更新中

発行元
医療法人 坂口会 坂口歯科医院
理事長 坂口馨

〒865-0064
五名市中1906-12
TEL 73-7157 FAX 73-7227
<http://www.good-teeth.net/sakaguchidc/>

